

事務事業マネジメントシート(令和 5年度実績と令和 6年度計画)

令和 6 年 8 月 26 日 更新

事務事業名		防犯資機材支給事業				☐ マニフェスト関連 ☐ 全庁横断課題関連 ☐ 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政 策	4 生活環境の健康				所属部	総務部	課長名	田代 純児
	施 策	17 防犯対策の推進				所属課	安全安心課	担当者名	三谷 三恵
	施策の柱	53 防犯意識の高揚と地域防犯対策				所属班	交通防犯対策班	(内線)	1243
予算科目		会計一般	款 2	項 1	目 4	事業連番 10029	根拠法令	合志市生活安全条例 合志市防犯資機材支給要綱	
終了、開始年度		☒ 5年度で終了 ☐ 5年度から開始				事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 18 年度) ☐ 期間限定複数年度		

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	・結成された地域の自主防災団体に防犯資機材を支給し、活動を支援するものである。 ・現在27の団体が登録、防犯活動を行なっている。 ・支給する資機材の主なものは、帽子、反射ベスト等である。 ※令和6年度より、10025防犯対施設整備事業に統合する
【業務の流れ】	・地域への主旨説明及び結成促進、結成、 ・防犯資機材（申請受付、発注、支払い、支給）
【主な予算費目】	・需用費(消耗品費)
【意見や要望】	・特になし

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分
①手段(主な活動) 5年度実績(5年度に行った主な活動)(DO) 各地区の自主防災団体へ帽子や反射ベストを提供し活動支援を行なった。		6年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN) R6年度から、10025防犯施設整備事業に統合する
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)	予算の主な増減の理由
→ ア 自主防災団体数	団体	令和6年度から10025防犯施設整備事業に統合することによる減
イ		
②対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等		②対象指標(対象の大きさを表す指標)
・自主防災組織		→ ア 防犯資機材の支給を受けた団体数
		イ
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		③成果指標(意図の達成度を表す指標)
・資機材を活用して防犯活動を行う		→ ア 資機材を活用して効果的な防犯活動ができている団体の割合
		イ
*③成果指標設定の理由と 6年度目標値設定の根拠		総トータルコスト
・資機材支給し、3年を経過している団体が多いことから防犯資機材支給申請件数及び団体数を11とした。		全体計画
		～ 年度
		0

(2) 各指標・総事業費 の推移		単位	3年度 実績(決算)	4年度 実績(決算)	5年度 目標(当初予算)	5年度 実績(決算)	6年度 目標(当初予算)	7年度 予定	8年度 見込	9年度 見込			
① 活動指標	ア	団体	26	27	30	27	0	0	0	0			
	イ												
	イ	団体	6	8	11	8	0	0	0	0			
② 対象指標	ア												
	イ												
	イ	%	100	100	100	100	0	0	0	0			
③ 成果指標	ア												
	イ												
	イ												
投資 入費 量	事業 費	財 源 内 訳	国庫支出金	千円									
			都道府県支出金	千円									
			地方債	千円									
			その他	千円									
			繰入金	千円									
			一般財源	千円	88	87	129	107					
		(A) 事業費計	(A) 事業費計	千円	88	87	129	107	0	0	0	0	
			(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	
			(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	
	人 件 費	正 規 職 員 従 事 人 数	正規職員従事人数	人	3	3	3	2	0	0	0	0	
			延べ業務時間	時間	160	260	160	190	0	0	0	0	0
			(B) 人件費計	千円	625	989	637	691	0	0	0	0	0
	トータルコスト(A)+(B)		千円	713	1,076	766	798	0	0	0	0		

事務事業名	防犯資機材支給事業	所属部	総務部	所属課	安全安心課
-------	-----------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部（CHECK）

*原則は 5 年度の事後評価、ただし複数年度事業は 5 年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	① 5 年度目標達成度評価	☒ 達成した 各団体において資機材を利用した活動が行なわれている。	☐ 達成しなかった ⇒【原因】
	② 6 年度目標達成見込み	☒ 目標達成見込みあり⇒【理由】 団体設立へ向けた啓発をより活発に行ない、資機材の支給についても周知を徹底することで目標を達成できる見込みがある。R 6 年度から、10025 防犯対施設整備事業に統合する	☐ 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】
有効性評価	③ 成果の向上余地	☒ 向上余地がある ⇒【理由】 支給事業の利用と団体設立の促進をはかることで、より成果の向上が期待できる。	☐ 向上余地がない ⇒【理由】
	④ 類似事業との統廃合・連携の可能性	☒ 他に手段がある（具体的な手段、事務事業） ☒ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 R 6 年度から、10025 防犯対施設整備事業に統合する	☐ 他に手段がない ⇒【理由】
効率性評価	⑤ 事業費の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 資機材購入費のみであり削減の余地はない	☒ 削減余地がない ⇒【理由】
	⑥ 人件費（延べ業務時間）の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 防犯資機材の購入、申請受付、支給事務のみであり削減余地はない。	☒ 削減余地がない ⇒【理由】
公平性評価	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 市内の自主的に活動しようという防犯組織が対象であり公平である。	☒ 公平・公正である ⇒【理由】
役割分担評価	⑧ 行政の役割分担の適正化	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 地域が行う自主防犯活動を支援することは、行政の役割である。	☒ 役割分担は適正である ⇒【理由】

3 評価結果の総括（CHECK）

現在結成されている防犯団体については、資機材を活用し効果的な防犯活動を行っていただいている。防犯団体の結成促進及び活動支援を引き続き行う。

4 今後の方向性（事務事業担当課案）（ACTION）

(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可 ☐廃止 ☐休止 ☐目的再設定 ☒事業統廃合・連携 ☐事業のやり方改善（有効性改善） ☐事業のやり方改善（効率性改善） ☐事業のやり方改善（公平性改善） ☐現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）				(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table><tr><th colspan="2" rowspan="2"></th><th colspan="3">コスト</th></tr><tr><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr><tr><td rowspan="3">成果</td><td>向上</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>維持</td><td></td><td>○</td><td></td></tr><tr><td>低下</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>						コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
		コスト																										
		削減	維持	増加																								
成果	向上																											
	維持		○																									
	低下																											
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策																												